

祝 オリンピック出場決定！

カヌー・水本圭治さん

◎水本圭治（みずもと・けいじ）
〓太田出身。不來方高校時代にカヌーを始め、高校3年時にインターハイで4冠を達成。平成18年度に矢巾町初の町民栄誉賞を受賞。現在は長崎県を拠点に活動。

夢、遂にかなう

吉報を持ち帰郷

矢巾町太田出身の水本圭治さん（31）が、2020年東京オリンピック・カヌー競技に出場することが決定しました。水本さんは、8月下旬に行われたカヌースプリントの世界選手権決勝で、4人で船をこぎ進める種目「カヤックフォア」500mでアジア勢最高位の全体12位となり、五輪出場枠を勝ち取りました。

水本さんは不來方高校卒業後に北京、ロンドン、リオデジャネイロと3度、五輪出場を逃してきましたが、4度目の挑戦で、念願の出場を決めました。

また、9月1日～6日、海の森水上競技場（東京都江東区）
〓東京五輪カヌー競技会場〓で行われた、「カヌー日本スプリント選手権」では、カヤックシングル500mで4連覇、1000mで2連覇を果たし、存在感を示しました。

水本さんは9月10日、役場庁舎を訪れ、高橋町長を表敬訪問しました。庁舎内ではこれに合わせて、水本さんを歓迎するセレモニーを開催し、町民、町体育協会や町職員など約100人が参集。オリンピック出場決定を祝う横断幕を掲げた会場に水本さんが到着すると、大きな拍手が沸き起こりました。

到着後、村松正夫町体協会長から花束を贈呈。会場に駆け付けた本町のパラリンピアンである横澤高德参議院議員（チエアスキー）、高橋幸平さん（アルペンスキー）と握手を交わしました。

水本さんは「帰ってきて、地元の盛り上がりを感じた。きょうの応援は必ず力になる。オリンピックに出るからには、メダルを取りたい。そのために頑張っていきます」と力を込めました。



日本カヌースプリント選手権大会で圧巻のレースをみせる水本圭治さん



役場庁舎でオリンピック出場決定の祝福を受ける水本さん（右）

町から歓喜の声

町では、水本さんの五輪出場決定を受け、関係団体と連携して後援会組織を立ち上げ、支援体制を整えます。

村松町体協会長は「オリンピックは、スポーツに取り組み者として最大の大会。活躍を期待したいし、町体協として、地元として、一丸となって

応援していきたいと思います」とエールを送りました。

不來方高校カヌー部監督の小野幸一教諭は「入部して半年ほどで、他の選手との力の違いを見せ始めたことを思い出す。自分は高校3年間に指導していないが、オリンピック出場が決まって良かった」と教え子の成長を喜び、活躍を期待しました。